

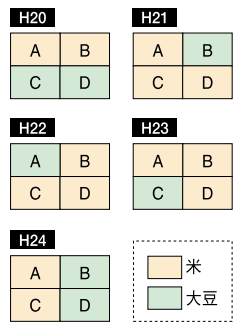


DATA

■お問い合わせ先
JA秋田みなみ営農経済部
TEL.0185-46-2311
http://www.namahage.ne.jp/
jaminami/

ブロックローテーションとは

(例) 例えばDはBとCと同時期に大豆を作付することで、ほ場がつながるため余分な作業や経費の削減が可能となる。



JA秋田みなみ ブロックローテーション による大豆生産

転作大豆について調べていたら「ブロックローテーション」という言葉が出てきました。「ブロックローテーション」って何ですか。



ナビゲーター
JA秋田みなみ
営農経済部 営農販売課
営農支援班
調査役
鈴木 司さん

その年の団地形成は、前年の春に計画を立てます。転作実施場所明細書を元に、一人ひとりの希望に応えるべく私たち職員が対応します。
例えば、稲を作付したい人のために団地内で作付できる水田や交換できる水田を探します。また、作業受託できる人を探したり、調整することも大切な仕事です。

管内では25年ほど前からこのブロックローテーションを行なっています。それに伴い、土地交換や作業委託に関する「転作実施場所明細書」を、毎年3月に生産者に提出してもらい、収入などに不公平が無いように調整しています。
ブロックローテーションを実施するにあたりJAが果たす役割は。

大豆は連作障害が出るので、毎年同じ圃場に作付することを避けなければなりません。理想は、その圃場に3年に1度大豆を作付するローテーションです。

ブロックローテーションについて教えてください。
転作物物としての大豆の生産性を向上させるため、作付する圃場を区分して、ローテーションすることです。例えばJA管内の弘戸地区では、水田を集落ごとに4つのブロックに分け、集落単位で団地を形成しブロックローテーションを行なっています。集落という大きい単位で実施しているJAは少ないと思いますよ。

おかげさまで現在県内トップクラスの大豆生産量を誇っています。転作物物として新規需要米を導入するケースも増えているようですが、国産大豆の需要はまだ増えたと感じていません。今後も転作大豆の生産を進めていきます。

転作大豆には補助金が出ます。湿害を軽減し効率よく生産することで補助金が増える。生産者の手取りを増やしたい。このおもしろいから、ブロックローテーションの仕組みについて一軒一軒説明して回ったことを思い出します。昭和50年代からブロックローテーション方式による団地形成に取り組みましたが、このシステムのメリットを納得してもらうまでに毎日のように話し合いました。

大豆は等級(質)と収量のバランスがとても難しい作物です。湿害を受けやすいので、高品質な大豆の収量アップのためには、圃場の排水対策は欠かせません。畦の間を耕して雑草を防除し通気を良くする「中耕」や、伸びた茎の下部を土寄せして覆う「培土」は、地下水位が高い圃場では大切な作業となります。種子も自家採種は避けて、必ず購入するよう指導を徹底しています。また、播種を同じ時期にすることで収穫を効率よく行なうことができるため、広報紙等で播種時期を連絡し、集落が一体となって行なっています。

大豆の質や収量をアップするためにローテーションは大切ですね。
大豆は等級(質)と収量のバランスがとても難しい作物です。湿害を受けやすいので、高品質な大豆の収量アップのためには、圃場の排水対策は欠かせません。畦の間を耕して雑草を防除し通気を良くする「中耕」や、伸びた茎の下部を土寄せして覆う「培土」は、地下水位が高い圃場では大切な作業となります。種子も自家採種は避けて、必ず購入するよう指導を徹底しています。また、播種を同じ時期にすることで収穫を効率よく行なうことができるため、広報紙等で播種時期を連絡し、集落が一体となって行なっています。



1 収穫の様子。2 天王地区にある大豆乾燥調整貯蔵施設。3 集落別ブロックローテーションは地図でみると一目瞭然。大規模な団地を形成するために、飛び地となる圃場は土地交換を行う。4 中耕作業の様子。畦を耕すことで土壌の通気性を良くする。5 播種用の種。ピンク色しているのは、鳥害や雑菌による病気などを防ぐための忌避剤がコーティングしてあるため。6 管内生産の8割以上を占める「りゅうぼう」。

